

春日台だより 第24号

令和6年9月2日

綾瀬市立春日台中学校

校長 吉田 勉

～学校教育目標～

すすんで学ぶ人 こころ からだ 精神と身体 건강한人 責任を重んじる人 心豊かであたたかい人

始業式での校長先生のお話を掲載します。

「十人十色」



皆さん、おはようございます。夏休みは元気に、楽しく、そして有意義に過ごせましたか？ まだまだ暑い日が続いていますが、残念ながら夏休みは終わってしまいました。でも私は、こうして皆さんと会うことができ、とても嬉しく思っています。

ところで、1学期の終業式では、私から皆さんへ夏休みの宿題を出しましたが、きちんとその宿題をやりましたか？

宿題の内容は、『夏休み中に、これからの自分の活動や取組の最終ゴールとなる「目的」を考えてみてください。そして「目的」を定めたら、その達成に向けてどんなことをしていけばよいかを考えて、少しずつ「目的」に近づけるよう具体的な「目標」を、できるだけたくさん立ててみてください』という宿題でした。具体的に考えることができたでしょうか？

さて、きょうは「十人十色」というテーマで話をします。

「十人十色」という言葉は、6月に行われた生徒総会で掲げられた、今年度の生徒会の基本方針です。昇降口の上の方に掲示されています。

「十人十色」とは、「ものの見方・捉え方・考え方・好み・価値観・個性などは、人によってそれぞれ異なる」という意味の言葉です。人が10人いれば10通りの趣があるということです。要するに「人それぞれ」ということです。

生徒総会では、「いじめ暴力防止政策」と題して、「春日台中学校 いじめ・暴力防止憲章」も提示され、「いごこちの良いクラスを作ろう ～わたしたちがすること 9の約束～」が確認されました。(裏面参照)

その「9の約束」を読んで私が思ったことは、生徒会基本方針の「十人十色」の意味を皆さん一人ひとりが本当に理解して、お互いが違ってあたりまえ、お互いが違って良いのだと誰もが思えるようになれば、誰にとっても「いごこちの良いクラス」ができるのではないかと思います。

2学期は、体育祭や合唱祭、春綾祭という行事があります。それぞれの行事に向けた練習や準備そして当日と、様々な場面で皆さん一人ひとりが個性を発揮して、自分らしく輝いてほしいと願っています。

「みんなとおなじ」でなくて良いのです。誰にでも得意・不得意はあると思います。得意であっても不得意であっても、その時その時に精一杯の力を出して臨めば、きっと成果を得られると思います。

「十人十色」の取り組み方、「十人十色」の頑張り方、「十人十色」の努力の仕方があるのです。大切なことは、「十人十色」「人それぞれ」ということをみんなが認め合って、お互いを尊重することなのです。

皆さんがこのことを理解して、誰にとっても「いごこちのよい春日台中学校」になることを期待しています。

いごちの^よ良い^{つく}クラスを作ろう

～わたしたちが^{やくそく}すること 9の約束～

- 1 わたしたちは、いじめをゆるしません。
- 2 わたしたちは、人をからかったり、ばかにしたりしません。
- 3 わたしたちは、人に暴力をふるいません。
- 4 わたしたちは、もしいじめを見たら止めます。または、助けを呼びます。
- 5 わたしたちは、グループで活動するときは、絶対にみんなが仲間に^{なかま}入れるようにし、ひとりぼっちになる人は作りません。
- 6 わたしたちは、お互いの意見に耳をかたむけます。
- 7 わたしたちは、お互いを尊重し、優しい気持ちで接します。
- 8 わたしたちは、お互いの持ち物を大切にします。
(^{がっこう}学校の^{つくえ}机、イスなども。)
- 9 わたしたちは^め人の^む良いところに^{こせい}目を向け、その人の個性を大切にします。